

令和2年度第10回士別市教育委員会会議録

1. 日時 令和2年10月12日(月) 午後2時25分～午後2時41分
2. 会場 士別市役所 庁議・来賓室
3. 出席者
- | | | | |
|-------|---------|---------|---------|
| 教育長 | 中 峰 寿 彰 | 生涯学習部長 | 鴻 野 弘 志 |
| 職務代理者 | 五十嵐 紀 子 | 合宿の里統括監 | 三 上 正 洋 |
| 委員 | 馬 場 千 晶 | 学校教育課長 | 須 藤 友 章 |
| 委員 | 加 藤 洋 之 | 社会教育課長 | 武 山 鉄 也 |
| 委員 | 山 田 敦 久 | | |

4. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

○中峰教育長

総合教育会議に引き続き開催するところであり、時間の関係もあるので、あいさつは割愛する。

1 議事について

○中峰教育長 進行

議案第23号 士別市財政健全化実行計画(案)について、先ほど市長と財政課長からの説明で、基本的な事をご理解いただいたと思うが、疑問に思うことなどがあれば事務局に連絡いただき、次回の会議の際にお答えしたい。

教育委員会としても、どのように対応していくか考えなければならない。例えば、武道館の廃止に伴う農業者トレーニングセンターの活用など、検討の進んでいるものもある。一方で、スキー場などについては、これからの検討課題。これまでアルペン競技の拠点として優秀な人材を輩出してきた経過があるなかで、慎重な検討が必要。

学校教育に限らず、社会教育・社会体育については、人間らしい生活のために必要となるものであり、どう工夫していくか、しっかりと考えていかなければならない。

本日については、計画の内容を確認し、基本的考えについて了解したということとし、その推進に関わっては、次回の会議で決定していくことでよろしいか。

(全員了承)

2 その他について

(1) 朝日中学校の校舎整備と今後のあり方について

○中峰教育長

朝日中の校舎・体育館は非耐震であり、耐震化を進める必要がある。小中学校適正配置計画や長寿命化計画では、体育館については糸魚小と共有する方向性が示されている。将来を見据えてどのように改修するか検討していく。現在の生徒数は3年前に作成した推計を下回っている状況であり、複式学級のまま推移することが想定される。更に生徒数が減少すると、事務職員・養護教諭の削減や教頭の兼務といった状況になり、主要5教科の専科教員が配置できない恐れもある。これは朝日中だけの問題ではない。多寄では保護者からの申し出がきっかけとなり士別中と統合した。教員の配置基準などについては保護者に知ってもらふ必要がある。

体育館については、火災報知器なども不調であり、耐震化以外に多額の経費が必要となる。上士別や多寄でも体育館を共有しているため、同様に扱うこととしたい。しかし、冬場の移動方法が問題であり、例えば車両を使用した送迎などを検討しなければならない。

今月23日に、まずは朝日中と糸魚小のPTA役員に説明し、今後の協議を相談する。今後の進め方や検討方法についても協議していくので、ご承知おきいただきたい。

○五十嵐職務代理者

温根別中学校では教頭が不在になった時期があり、とても大変だったと聞いている。

○中峰教育長

教員数が限られる中、何かあると教頭が担任をもつなどの対応が必要になり、現場はかなり大変である。なお、先を見据え、未就学児の保護者からも意見を聞く機会を設けたいと考えている。

○山田委員

もしも中学校とスキー場がなくなってしまうと、地域の衝撃が大きい。

○中峰教育長

施設をなくして終わりということにはできない問題であり、十分な協議と検討が必要。

(2) 学芸会・学校祭の日程について

(3) 当面する今後の日程について

- ・本市ほか道内自治体への同時多発襲撃予告の件
- ・教員の異動の件

午後2時41分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者

中峰 寿彰

会議録調整者

須藤 友章